

次世代がん治療推進専門家養成プラン

記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。聴講は自由です。

記

S y m p t o m M a n a g e m e n t (A d v a n c e d)

「症状マネジメント(応用編)」

7月16日(火)	(市川)	歯科口腔外科領域における緩和医療
7月17日(水)	(的場)	がん専門病院における 緩和医療・身体症状へのアプローチ
7月18日(木)	(三宅)	緩和ケアを取り巻く現状
7月19日(金)	(永井)	AIDS 患者の緩和医療

*** 7/18(木)三宅先生の講義は休講となりました。**

振替講義は秋以降に実施予定としています。

詳細は決定次第追って通知します。

1 時限: 18:30-19:50 2 時限: 19:50-21:10

質疑応答 21:10-21:30

M&D タワー11F 大学院講義室 3

概 要:

一般病棟、在宅医療における疼痛緩和の実際についての解説に始まり、鎮静、臨死期の身体症状をはじめとする諸問題に対して、事例紹介を交えながらより実践的な知識を習得することを目指す。また、現在の政策なども含めて緩和医療の現状について概説する。さらに小児を対象とした緩和医療、AIDS 患者を対象とした緩和医療についても講義を行う。

科目担当責任教員:

三宅 智 本学大学院医歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野 教授

科目担当教員:(講義順)

市川 雄二 東京都保健医療公社豊島病院 歯科口腔外科 部長

的場 元弘 国立がん研究センター中央病院 緩和医療科 科長

永井 英明 国立病院機構東京病院 外来診療部長

【問い合わせ 教務課大学院室 ☎5916】